

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

勝利の女神は細部に宿る

先週は、梅雨明けとともに連日暑い日が続きました。毎朝、北館中庭の木々から蝉の声が響いており夏本番の到来です。猛暑の中、熱中症が心配されます。こまめな水分補給など自分自身の体調管理をしっかりと行ってください。

「平成 30 年 7 月豪雨」による記録的な大雨は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。大雨特別警報が発表されてから 10 日間が経ちましたが、なお 6 千人を超える方々が避難所に身を寄せておられます。本校も考査期間中でしたが、JR 線が運転見合わせという事で、2 日間の休校措置をとりました。今回の豪雨の影響でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、世界中を熱狂の渦に巻き込んだ「2018FIFA ワールドカップロシア大会」も昨日の決勝戦で幕を閉じました。西野監督率いる日本チーム「SAMURAI BLUE」は予選リーグを突破、2 大会ぶりに決勝トーナメントに進出し、惜しくもベルギーに敗れるもベスト 16 という素晴らしい成績を残しました。生徒の皆さんは考査前でしたが、試合結果に一喜一憂した人も多かったのではないのでしょうか。ところで、日本はワールドカップに 6 度出場していますが、2 度代表監督として采配を振るった人が岡田武史さんです。8 年前の南アフリカ大会では、決勝トーナメント 1 回戦でパラグアイに PK 戦で敗れ、今回と同じベスト 16 という結果を残しました。岡田武史さんは、本校近くの住吉中学校の卒業生で、天王寺高校、早稲田大学と進まれました。今回のロシア大会でもテレビ解説者として登場されていました。

岡田さんは代表監督時代に『勝利の女神は細部に宿る』とよく言っておられます。「細かいところまで追及してトレーニングしなければ、勝負の神様は決して味方してくれない」という意味です。例えば、ランニングをする場合、ズルをしてピッチの四隅に置かれたコーンの内側を回る選手がいるとします。たった数メートルの差ですが、これを許すチームは決して強くなれない。**当たり前前**のことを**当たり前前**のようにやれないチームは、最後にちょっとした**気の緩みが出てしまい、その差が勝敗を分ける**と考えておられます。続けて次のように言っておられます。「試合後の結果を語る時には、大上段に構えた戦術論やシステム論が取りざたされます。それは大事ですが、勝敗を分けるのは、往々にしてそういう小さな事の積み重ねです。これは自分の信念です」

岡田さんのように一流と呼ばれた人たちは「小さな事」にこだわります。大リーグのイチロー選手も「小さな事」をおろそかにしません。ベンチを出る時からバッターボックスまで、毎打席完全に同じルーティンを踏んでいます。また、ホームランを打った時は、急ぐ必要がないので自分のバットを静かに地面に置いてから走り出します。自分の使っている道具を大切にすることこだわります。小さな事、ささいな事を「些事(さじ)」と言います。今年から大リーグで活躍している大谷翔平選手は、花巻東高校の時代から「勝利の女神は**些事にあり**」をモットーとして、毎日のあいさつをする、時間を守る、身の回りを整理整頓する等、日常生活の当たり前前のことをきちんとしています。

普段から細部(些事)にこだわり妥協しない。逆に普段のいい加減さは勝負を分ける場面でこそ露呈するということ。このような事は、我々の生活にも見られることではないでしょうか。明日から夏休みが始まりますが、「ちよとぐらい」という甘えを許さず、当たり前前のことをきちんとして行って欲しいと思います。